2017年 12月 28日

一般社団法人
日本産業・医療ガス協会

JIMGAnews
第43号

平成29年度第2回部門理事会・評議員会合同会議について

間会長挨拶の様子

11月28日、メルパルク大阪で平成29年度第2回部門理事会・評議委員会を開催しました。

午前中、会議に先立ち行った記者懇談会で、間会長は医療ガス部門、産業ガス部門の共通課題の一つである、保安の更なる強化・推進について、特に現場における保安教育・啓発の重要性を改めて強調しました。続いて各部門の取り組みについて、産業ガス部門は永江専務理事より上昇する電力料金問題への対応等について、医療ガス部門は瀬戸常務理事より医療ガス容器の誤認防止活動等についての説明を行いました。

部門理事会・評議員会合同会議では、理事会が定数19名のうち16名、評議員会が産業ガス部門定数38名のうち28名、医療ガス部門定数48名のうち38名が出席しました。

間会長は冒頭の挨拶で、今年9月～11月にかけて全国9カ所の地域本部で実施した合同幹事会について触れ、「地域により抱えている問題や優先順位のつけ方はさまざまだが、保安への熱意という点では共通している。各地域の会員の方々の苦労を肌で感じた」と述べました。また頻発したシリンダーの破裂事故を受けて強化した平成28年度の放置・不明容器の特別回収運動では、例年の約2倍の本数の容器が回収されたと報告しました。JIMGAではRFタグの活用等の提案を実施しており、不明容器の発生を防ぐ仕組みは整いつつあるとしながらも、運用する現場での保安意識の徹底が今後更に大切になると呼びかけました。

その後、議長に選出された間会長の進行により審議が行われ、審議事項については入会希望事業者審査の件が全会一致で承認されました。

報告事項では、平成29年度上期活動報告、平成29年度中間収支計算書報告、および電力問題への対応等の説明を行いました。

詳細は平成30年3月発行の「産業ガスレポート」に掲載します。

会場の様子

（広報委員会 事務局　石原 智子）

会員紹介　－水アセ株式会社－

創業と沿革

1986年（昭和61年）9月に酸素、炭酸ガスの製造および各種高圧ガスの販売を目的とし、岡山県倉敷市福江に水島アセチレン工業株式会社を設立しました。

その後、米子営業所、広島営業所、笠岡営業所の新設と充填設備の増強を図り、酸素、窒素、炭酸ガス、アルゴン、混合ガスの製造・販売と事業を拡大してまいりました。2017年（平成29年）6月に水アセ株式会社に社名変更し、7月には設備および施設の老朽化や保安上の観点から倉敷市児島宇野津に移転しました。

「人と技術と環境の調和。無限の可能性に挑む」という理念のもと、「安全・安心」をすべての基本姿勢として活動を行っております。

最先端設備の導入

中四国地区におけるガス事業の中心的な役割を担う拠点として、敷地面積16,500m^{2}に工業用酸素、医療用酸素、窒素、アルゴン、炭酸ガス、混合ガスの最新鋭の充填設備、分析機器を備えています。徹底した製造管理、安全管理、品質管理を行い、更なる品質強化を図っています。

酸素CEは工業用15t、医療用5tの2槽式となっています。医療用酸素の充填は衛生管理を維持するため、専用の充填室で充填圧力14.7MPa、19.6MPa仕様で対応しています。炭酸ガスは30t CEを設置し、専用の充填設備にて食添用炭酸ガスや農業用炭酸ガスを充填し販売しています。

安全面では、充填ラインのボンベ転倒防止対策として新たな装置を導入しました。従来のチェーン式に比べ安全かつ容易に装着できます。

また、事業継続計画（BCP）対策の一つとして、インシデント発生時に備え、非常電源用にLPガス発電機を導入しました。これにより停電時にも医療用酸素の充填機能が確保され、製品の安定供給が可能になりました。

一般ガス充填棟

JIMGAとの関りと今後について

当社は、JIMGA中国地域本部の技術・保安部会ならびに充填ガス部会に参加し、講習会や保安セミナー等へ積極的に出席しています。また、中国高圧ガス容器管理委員会では、岡山県支部長を務めています。

岡山県では平成26年2月に、災害の発生や高圧ガス容器の放置を防止することを目的に「岡山県高圧ガス容器管理指針」が制定されました。高圧ガス保安法の目的に基づき、高圧ガス供給事業者および消費事業者ならびに関係団体による、高圧ガス容器の適正な容器管理や安全に消費を行うための自主的な保安活動が進められています。

近年、長期停滞容器による事故もあり、お客様への高圧ガス容器の取り扱いの周知を徹底しながら、日頃より長期停滞容器の回収を心がけています。

今後も、長期停滞容器の回収および放置容器の撲滅など、高圧ガス保安確保の取り組みを積極的に進めてまいります。

（水アセ株式会社　代表取締役社長　小西 章平）

事務所棟

第74回国際酸素製造者協会（IOMA）ドバイ年次総会

11月12日～14日に、第74回国際酸素製造者協会（International Oxygen Manufacturers Association：IOMA）総会が、アラブ首長国連邦（UAE）ドバイのリッツカールトン（ジュメイラビーチ）で開催されました。世界中の産業ガスビジネスに関わる経営者が一堂に会し、関係者を含め約150名の参加がありました。JIMGA会員企業からは7社21名が参加し、JIMGAからは永江専務理事と羽坂が出席しました。

イスラム文化について講演するAl Tamimi氏と
アバヤ（伝統的民族衣装）を着たヨーロッパからの女性参加者

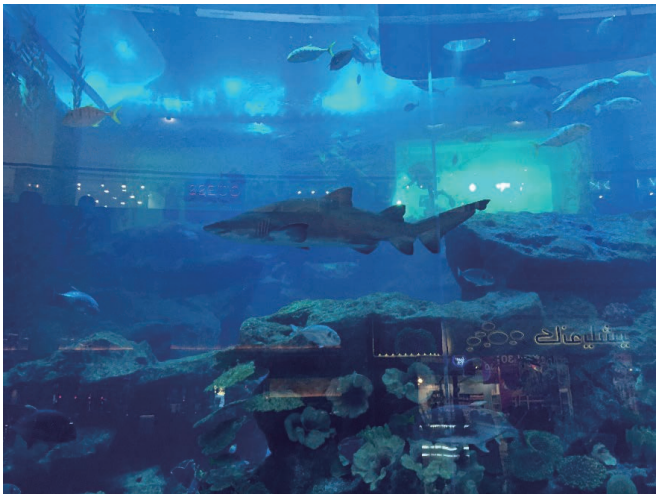
11月13日午前8時半からIOMAプレジデントのTom Thomas氏（Airgas）の議事進行で総会が開始され、最初にJIMGA会員の高千穂化学工業㈱会長 江上正氏が本年4月に103歳で亡くなられたことが出席者に報告され、特殊ガス業界の発展に大きく寄与したことに感謝の意が示されました。続いて国際整合化委員会（International Harmonization Council：IHC）活動に貢献している、CGA（Compressed Gas Association：アメリカ）のMike Tiller氏、EIGA（European Industrial Gases Association：ヨーロッパ）のPhil Brickell氏、、AIGA（Asia Industrial Gases Association：アジア）のMilan Sarker氏、そしてJIMGAの永江専務理事と羽坂を含む7名が紹介され、次に出席者全員の自己紹介が行われました。初日の講演では、UAEの歴史やイスラム文化に関する講演がありました。近年は石油産業に代わって、観光が主産業になっており、更に観光産業を伸ばすため、2020年には国際万国博覧会が開催されることが紹介されました。

午後に入り、国際委員会（Global Committee：GC）が行われました。今回より岩谷産業㈱の牧野会長に代わり、堀口常務取締役がGC委員として出席し、JIMGAからは永江専務理事が参加しました。2018年度は、議長にはTeletz氏（Praxair）からEulitz氏（Linde）、副議長にはEulitz氏からPainter氏（Air Products）に就任が決まりました。IHC活動の今後の進め方に関しては、更なる効率的な運営について議論を継続することが確認されました。

国際整合化功労賞 受賞者Mark Begg氏（左）
とプレジデントTom Thomas氏

また「顕在化した問題点およびリスクの特定と対策の実施」に関しても議論がなされ、他業界の標準化活動に対して積極的に関与するよう国際整合化委員会に指示がありました。

その夜のプレジデント・バンケットでは、歴代のIOMA議長の紹介に加え、国際整合化功労賞を、国際整合化委員会メンバーで長年AIGAの技術サポート行ったMark Begg氏（Air Products, China）が受賞しました。今回はドバイ開催ということもあり、ドレスコードが「ビジネス」であり、タキシードが必要な「フォーマル」ではなかったため、参加者はリラックスした様子で、プレジデント・バンケットに参加していました。



世界一広い（東京ドーム23個分）
ドバイ・モールの中にある水族館

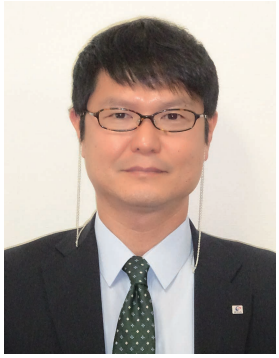
14日午前中の講演ではガスビジネスの将来性について、Gulf Cryo、Air Liquide、Air Productsより産業ガス業界にとって湾岸アラブ諸国（イラクを除くペルシャ岸諸国）は非常に有望な市場であるとの展望が示されました。最後に2018年度の理事会メンバーAnnoni氏（SOL SpA）の新任とBuendia氏（Strandmollen A/S）、Bulter Moore氏（Butler Gas Products）、市原大陽日酸社長の再任が承認され、IOMA会長にTom Thomas氏、プレジデントにClas Palmberg氏（Oy Woikosiki Ab）就任することが承認され、閉会となりました。

午後のオプショナル・ツアーでは、近代的なドバイの街並みにため息をつきながら、世界一高いビルであるブッシュ・ハリファ（828m）の125階（約450m）より、街並みを見下ろした後、世界一の広さの商業施設ドバイ・モールを巡りました。

（国際部会 事務局　羽坂 智）

世界一高い（828m）のブッシュ・ハリファと125階からの街並み

新事務局員の紹介



名　前： 山本　卓也（やまもと　たくや）
現住所： 東京都大田区
出身地： 千葉県
生年月： 1968年 6月
略　歴： 1991年 4月 大阪酸素工業㈱（現 日本エア・リキード㈱）入社
2006年1月 バルクロジスティック部 中部物流センター長
2013年 1月 需給・配送計画部 中日本グループ長
2016年 2月 近畿支社 業務グループ長
2018年 1月 JIMGA 特殊ガス･水素・RFタグ運営委員会 担当業務部長

趣　味： 引っ越しを機にガーデニングはできなくなり、熱帯魚は手放しましたが、ドライブや旅行、料理は作る方も食べる方も好きです。ゴルフは近いうちに再開したいと思っています。

抱　負： 近畿地域本部では幹事会社担当者として短期間でしたが大変お世話になりました。これまでの、安全第一、コンプライアンス遵守、安定供給の文化のなかで積んだキャリアを、今後も活かすことができますよう、皆様ご指導方よろしくお願い申し上げます。

名　前： 陶山　和紀（すやま　かずき）
現住所： 香川県高松市
出身地： 香川県
生年月： 1965年　3月
略　歴： 1985年　4月 ㈱J・C・I（現㈱岩谷瓦斯）入社
2005年10月 エーテック㈱ 出向
2017年10月 四国岩谷産業㈱ 出向
2018年 1月 JIMGA四国地域本部 事務局長

趣　味： 趣味は釣り!! と言っても船の上で一杯やるのがメインでございました。これからは、ゴルフクラブをフィッシングロッドに持ち替え瀬戸内海での魚釣りをひそかに画策いたします。

抱　負： 機器類の生産現場を離れ、これまでに経験のなかった事務局の職務を拝命しました。少しでも早く業務に慣れて、皆様のお役に立てるようがんばりますので、ご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

編集・発行／一般社団法人 日本産業・医療ガス協会 産業ガス部門
〒105-0012 東京都港区芝大門２丁目８番１３号 サクセス芝大門ビル４階　TEL.03-5425-2255 FAX.03-5425-2256